

阪急沿線 ちょい駅散歩

22 駅目

ながおかてんじん

長岡天神
NAGAOKA-TENJIN

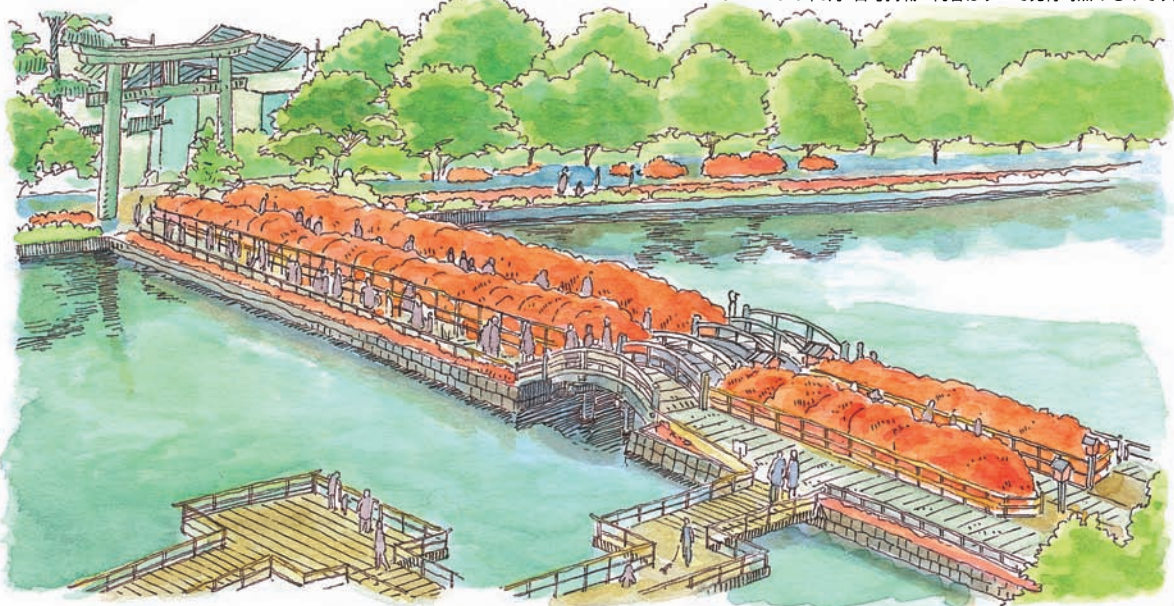
◀ おおやまざき OYAMAZAKI ▶ にしむこう NISHI-MUKO ▶

わずか10年間の都「長岡京」の一部だった長岡天神駅一帯。西には菅原道真公ゆかりの「長岡天満宮」、北には乙訓地域最古の寺「乙訓寺」など、古の歴史が眠る。名産のタケノコが旬を迎え、美しい花々が社寺に咲き誇るこの季節、ちょいと街を歩いてみよう。



長岡天神駅 | 所在地/長岡京市天神
設置/1928年11月1日

花を愛でながら、ぶらりタケノコの里へ



長岡天満宮(八条ヶ池) キリシマツツジが咲きそろう水上の桃源郷

駅から西へ歩くと、大きな石造りの鳥居が見えてくる。その昔、菅原道真公が在原業平と共にこの地で詩歌管弦を楽しんだという長岡天満宮だ。キリシマツツジがまさに見頃の今、鳥居の先には真紅の世界が広がる。八条ヶ池の上に浮かぶ参道を長さ70メートルにもわたって真っ赤な花が咲き連ねる様は、息をのむほど美しい。参道を進み、水上橋から池越しに眺めるのも一興だ。

●境内自由/☎075-951-1025



乙訓寺 乙訓地域最古の寺で眺める大輪の花

別名「牡丹の寺」としても親しまれている聖徳太子創建の古刹。4月下旬になると赤紫や赤、白、黄など色とりどりの牡丹が大輪の花を咲かせ、住宅街の奥にある普段は静かな寺に彩りを添える。所々花を覆うように掛けられた白い和傘が独特の風情を漂わせており、聞けば日差しに弱い牡丹を守るためのものだという。丹精込めて育てた牡丹の数は2,000株にのぼるといって驚きだ。牡丹の開花に合わせて、5月5日までは国の重要文化財でもある寺宝「木造毘沙門天立像」も一般公開されるので、この機会に足を運びたい。

●入山料500円(「木造毘沙門天立像」は拝観料100円)/8:00~17:00/
☎075-951-5759

朝掘りタケノコ入りハンバーグを発見!

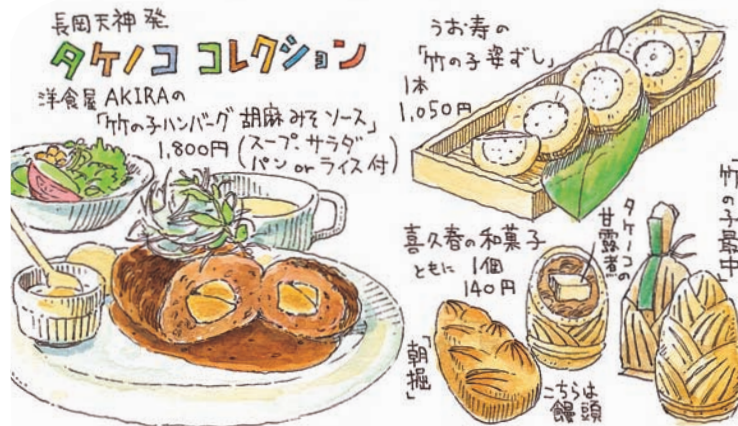
黒毛和牛を使った本格ハンバーグが評判の洋食店。少しおしゃれをして行きたい上品な店内は、天井が高く開放的な雰囲気だ。何とんでもおすすめなのが、ごろりと入ったタケノコとゴマ味噌ソースのコンビネーションが絶妙のハンバーグ。ゴールデンウィーク明け頃までの限定メニューなので急いで!

●[洋食屋 AKIRA] ランチ11:30~14:00LO、ディナー17:30~21:00LO/木曜休(祝日の場合は営業、5月19・20日は休)/☎075-952-3885

一足延ばせば

長岡天神駅発の無料バスでビール工場へガイド付きでビールの製造工程を見学できる。見学の後は試飲も。詳細は下記へお問い合わせを。

●[サントリー京都ビール工場] ※見学は予約優先
お問い合わせ: ☎075-952-2020(9:30~17:00)



タケノコを使った名物をお土産に

ユニークな“美味”に出会える2店舗をご紹介します。乙訓寺近くの料理屋「うお寿」では、ゆでたタケノコをくりぬいて、寿司飯を詰めた「竹の子姿ずし」をテイクアウトできる。木の芽や柚子で味付けをした寿司飯の香り高い風味は、ほかでは真似のできない一品だ。そして、見た目もかわいらしい、タケノコ入りの和菓子がある「喜久春」。餡の中に細かく刻んで入れた饅頭「朝堀」のほか、短冊形にして入れた「竹の子最中」は、タケノコのサクサクとした食感が斬新。

●[うお寿] 11:00~21:00LO/月曜休(祝日の場合は営業)/☎075-951-0325/「竹の子姿ずし」1,050円(持ち帰りは1,155円)
●[喜久春] 9:00~19:00/木曜休(祝日の場合は営業)/☎075-955-8016